

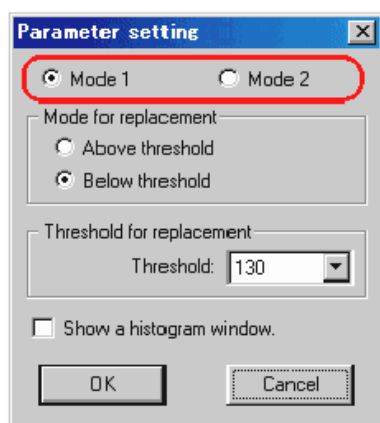
# 電子顕微鏡像の重畳 [II]

## \$ 序論

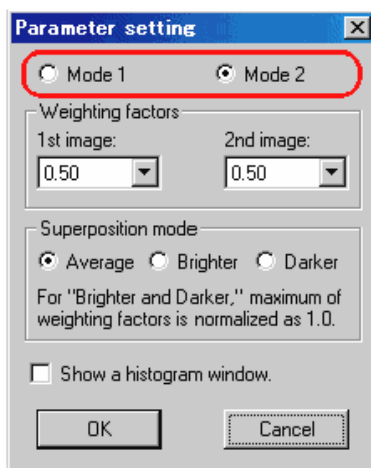
本アプリケーションソフトウェアは、下記のような機能を持っています。

1. 第一の像と第二の像のピクセル強度を比較し、「設定した閾値より大きい (or, 小さい) 範囲内」という条件下で、第一の像のピクセル強度の方が大きい (or, 小さい) ならば、第一の像の当該部分を、第二の像に置き換えます。
2. 第一の像と第二の像とを、加重して重畳します。加重モードには、平均モード (average mode)、明るいモード (brighter mode)、暗いモード (darker mode) が有ります。

註: 像は 8 bits grayscale bitmap image, or, 16/8 bits grayscale tiff image で、2つの像のサイズは同一の事。



Mode 1



Mode 2

## \$ ファンクション



パラメータを設定します。



第一の像を開きます (8 bits grayscale bitmap image, or, 16/8 bits grayscale tiff image)。



第二の像を開きます (8 bits grayscale bitmap image, or, 16/8 bits grayscale tiff image)。



指定の処理を行います。



処理された像を、クリップボードへコピーします。



処理された像を、名前を付けて保存します。



バージョン情報を、表示します。



(このファイルです。)



本アプリケーションソフトウェアを、閉じます。

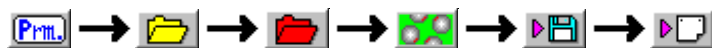
## \$ 取扱える像

電子顕微鏡像で、非圧縮形の 16/8 bits grayscale TIF、または、非圧縮形の 8 bits grayscale BMP。

[像のサイズ N x M: 64 <= N, M]

\*\*\*\*\*  
**重要: 第一の像のサイズ と 第二の像のサイズとは、同一の事。**  
\*\*\*\*\*

## \$ 使い方



1. ボタンで、パラメータを設定します。
2. ボタンで、第一の像を開きます。
3. ボタンで、第二の像を開きます。
4. ボタンで、指定の処理を行います。
5. 処理された像を、 ボタンで、名前を付けて保存します。
6. 必要なら、処理された像を、 ボタンで、クリップボードへコピーします。

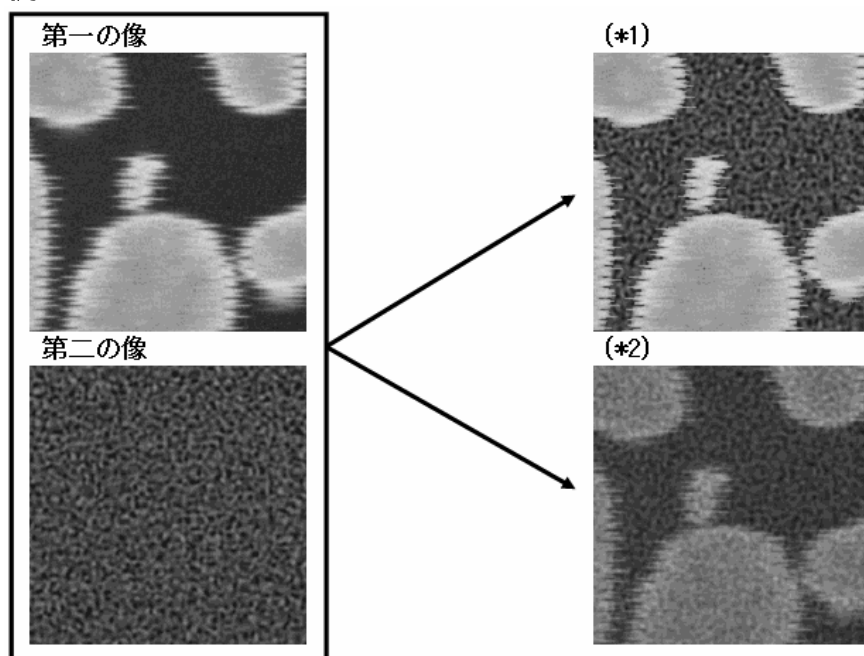
\*\*\*\*\*

註：処理された像は、自動保存されません。

必要に応じ、処理された像を、 ボタンで 名前を付けて保存してください。

\*\*\*\*\*

## \$ 例



- (\*1): 第一の像と第二の像のピクセル強度を比較し、「設定した閾値より小さい範囲内」と云う条件下で、第一の像のピクセル強度の方が小さいので、第一の像の当該部分を、第二の像に置き換えた。  
具体的には、第一の像の背景部分が置き換わった。
- (\*2): 第一の像 と 第二の像 とを、平均モードで 加重して重畳した。  
加重値を 50%, 50% としたので、いわば、通常の平均モード。